## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

配当支払開始予定日

平成28年5月2日

上 場 会 社 名 株式会社デイトナ 上場取引所 コード 番 号 7228 URL http://www.daytona.co.jp

 コード番号
 7228
 URL http://

 代表取締役社長
 (氏名)織田 哲司

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL)0538-84-2200

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日~平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1, 263	7. 7	△27	_	△33	_	△33	-
27年12月期第1四半期	1, 173	△9.0	Δ1	_	△4	_	△6	

(注) 包括利益 28年12月期第 1 四半期 △35 百万円 ( —%) 27年12月期第 1 四半期 △13 百万円 ( —%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
28年12月期第1四半期	△16.07	<u> </u>
27年12月期第1四半期	△3. 03	_

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	4, 560	1, 830	40. 1
27年12月期	4, 308	1, 897	44. 0

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 1,830百万円 27年12月期 1,897百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭			
27年12月期	_	0.00	<u> </u>	15. 00	15. 00			
28年12月期	_							
28年12月期(予想)		0.00	_	15. 00	15. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		売上高 営業利益 経常利益		益	親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	2, 960	6. 3	44	△67.8	43	△68. 7	20	△75. 2	9. 87
通期	6, 218	6. 6	325	23. 4	323	23. 0	220	_	104. 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有② ①以外の会計方針の変更: 無③ 会計上の見積りの変更: 無④ 修正再表示: 無

(注)詳細は、添付資料 P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

#### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期 1 Q	3,604,600株	27年12月期	3, 602, 600株
28年12月期 1 Q	1, 497, 972株	27年12月期	1, 497, 972株
28年12月期 1 Q	2, 104, 715株	27年12月期 1 Q	2, 104, 628株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示 時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報2
(1) 経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)9
(セグメント情報等)9

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の下落、円高の進行、中国経済の減速など景気の悪化懸念が見られる状況となりました。

二輪車業界では、春の祭典、東京モーターサイクルショーが開催され、入場者数も過去最高であった前年並みとなり、 堅調なスタートとなりました。

当社グループにおいては、第1四半期は本格的なバイクシーズン前となりモーターサイクルショーの出展などの費用も先行するため、売上高、利益が低くなる傾向がありますが、国内拠点卸売事業および小売事業の売上が好調であったことで売上高は前年同四半期を上回りました。利益面ではモーターサイクルショーの出展費用などの費用が増加したことにより前年同四半期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は12億63百万円(前年同四半期同期比7.7%増)、営業損失は27百万円(前年同四半期は営業損失1百万円)、経常損失は33百万円(前年同四半期は経常損失4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は33百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円)となりました。

#### [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、ツーリング関連用品、ライディングウェアなどの販売が好調であったことと天候や原油安など追い風要因もあり、売上高は8億97百万円(前年同四半期比9.6%増)となりましたが、モーターサイクルショーへの出展費用などの増加によりセグメント利益は6百万円(前年同四半期比81.4%減)となりました。

#### [アジア拠点卸売事業]

当初第1四半期で見込んでいた商品の出荷が遅れたことにより、売上高は27百万円(前年同四半期同期比36.0%減)、セグメント損失は2百万円(前年同四半期同期はセグメント損失0百万円)となりました。

#### [小売事業]

小売事業では、競合店の出店やWeb通販の伸長など厳しい環境が続いておりますが、品揃と接客品質の向上、またキャンペーンなどの組み合わせによる販売促進を行った結果、売上高は3億58百万円(前年同四半期比10.9%増)、セグメント損失は34百万円(前年同四半期はセグメント損失38百万円)となりました。

#### [その他]

太陽光発電事業は現在デイトナ本社に設置した800kWとなります。当第1四半期は前年同四半期並みとなる売上高は10百万円(前年同四半期比2.3%増)、セグメント利益は減価償却費が減少し3百万円(前年同四半期比17.8%増)となりました。なお、現在新たに600kWの太陽光発電システムを静岡県沼津市に建設中です。こちらは9月頃からの売電開始を見込んでおります。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7.1%増加し、26億9百万円となりました。これは、たな卸資産が2億34百万円増加したことなどによります。

#### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、19億50百万円となりました。これは、有形固定資産が80百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加し、45億60百万円となりました。

#### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28.3%増加し、20億62百万円となりました。これは、短期借入金が4億48百万円 増加したことなどによります。

### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.8%減少し、6億67百万円となりました。これは、長期借入金が73百万円、社債が53百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億19百円増加し、27億29百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、18億30百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日付「平成27年12月期 決算短信 [日本基準] (連結)」にて発表しました当期の業績予想については、おおむね予想の範囲での推移となっております。しかしながら今後の為替の状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因により、業績への影響が発生する場合があります。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

# 3. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579, 838	434, 178
受取手形及び売掛金	427, 816	498, 707
たな卸資産	1, 258, 891	1, 493, 735
その他	175, 654	189, 689
貸倒引当金	△6, 437	△6, 517
流動資産合計	2, 435, 764	2, 609, 794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	666, 947	656, 872
土地	864, 305	864, 134
その他(純額)	243, 970	334, 667
有形固定資産合計	1,775,222	1, 855, 673
無形固定資産	66, 134	65, 181
投資その他の資産		
その他	31,724	30, 200
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	30, 918	29, 394
固定資産合計	1, 872, 276	1, 950, 250
資産合計	4, 308, 040	4, 560, 044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259, 151	349, 999
短期借入金	921, 587	1, 369, 667
賞与引当金	21, 013	45, 522
その他	406, 347	297, 151
流動負債合計	1,608,100	2, 062, 340
固定負債		
社債	69, 280	15, 400
長期借入金	670, 589	597, 117
退職給付に係る負債	2, 713	2, 890
その他	60, 024	52, 200
固定負債合計	802, 606	667, 608
負債合計	2, 410, 706	2, 729, 948

		(単位:千円)_
	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412, 454	412, 456
資本剰余金	341, 182	341, 182
利益剰余金	1, 908, 955	1, 843, 553
自己株式	△747, 130	△747, 130
株主資本合計	1, 915, 462	1, 850, 062
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	27	△1,882
為替換算調整勘定	△18, 156	△18, 083
その他の包括利益累計額合計	△18, 128	△19, 966
純資産合計	1, 897, 333	1, 830, 095
負債純資産合計	4, 308, 040	4, 560, 044

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	1, 173, 322	1, 263, 529
売上原価	731, 504	804, 918
売上総利益	441, 818	458, 611
販売費及び一般管理費	442, 915	486, 601
営業損失(△)	△1,096	△27, 990
営業外収益		
受取手数料	1,835	1, 844
その他	4, 636	4, 462
営業外収益合計	6, 471	6, 307
営業外費用		
支払利息	4, 222	3, 570
為替差損	4, 282	7, 489
その他	1, 157	1, 114
営業外費用合計	9, 662	12, 174
経常損失 (△)	△4, 287	△33, 857
特別利益		
固定資産売却益	9	257
特別利益合計	9	257
特別損失		
事業譲渡損		979
特別損失合計		979
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4, 278	△34, 579
法人税、住民税及び事業税	19, 454	6, 599
法人税等調整額	△10, 818	△7, 346
法人税等合計	8, 636	△746
四半期純損失 (△)	△12, 914	△33, 832
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6, 525	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6, 388	△33, 832

## 四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純損失 (△)	△12, 914	△33, 832
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	-	△1,910
為替換算調整勘定	△939	72
その他の包括利益合計	△939	△1,837
四半期包括利益	△13, 853	△35, 670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7, 323	△35 <b>,</b> 670
非支配株主に係る四半期包括利益	△6, 529	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
 Z成27年3月24日 E時株主総会	普通株式	29, 464	14. 0	平成26年12月31日	平成27年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

#### 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月24日 定時株主総会	普通株式	31, 569	15. 0	平成27年12月31日	平成28年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日 後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク	ブメント		その他 (注)1	숨計		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	802, 942	36, 961	323, 277	1, 163, 182	10, 140	1, 173, 322	_	1, 173, 322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15, 723	5, 616	75	21, 414		21, 414	△21, 414	_
<b>∄</b> †	818, 666	42, 577	323, 353	1, 184, 597	10, 140	1, 194, 737	△21, 414	1, 173, 322
セグメント利益又は 損失 (△)	35, 011	△846	△38, 108	△3, 943	2, 988	△955	△141	△1,096

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。
  - 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△141千円には、セグメント間取引消去421千円、棚卸資産調整額 △775千円、固定資産調整額201千円、貸倒引当金調整額11千円が含まれております。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク	ブメント		その他 (注)1	合計		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	880, 222	14, 297	358, 641	1, 253, 160	10, 369	1, 263, 529	_	1, 263, 529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17, 238	12, 939	10	30, 187	_	30, 187	△30, 187	_
<b>∄</b> †	897, 460	27, 236	358, 651	1, 283, 348	10, 369	1, 293, 717	△30, 187	1, 263, 529
セグメント利益又は 損失(△)	6, 506	△2, 462	△34, 254	△30, 209	3, 520	△26, 688	△1, 301	△27, 990

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。
  - 2. セグメント利益又は損失( $\triangle$ )の調整額1,301千円には、セグメント間取引消去 $\triangle$ 259千円、棚卸資産調整額 $\triangle$ 1,209千円、固定資産調整額166千円等が含まれております。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。